



本村幼稚園 1月の園だより



平成29年1月10日 港区立本村幼稚園長 黒田 泰正

成長に大切な3学期

園長 黒田泰正

あけましておめでとうございます。穏やかな晴天に恵まれたお正月でした。ご家族そろってよい年を迎えられたことと思います。

昨年の行事を振り返ると、どれも保護者や地域の方にお世話いただきながら教職員が皆で知恵や力を出し合い工夫してやり遂げてきました。12月16日(金)に行われた「もちつき」でもまさにそうで、保護者の方が地域の方といっしょになって、もち米を蒸したり、こねたりして、学びあいながらの楽しい「もちつき大会」になりました。今回は、初めて「石臼」を使ってみましたが、木の臼と比較してみて、わかったことが多く、全員が勉強になりました。そのあと幼稚園評議委員会の方々からもお褒めの言葉やご感想をいただきました。お陰様で、たくさんの行事を通して、一人ひとりの幼児たちの健やかな成長の節目となる経験を積み重ねることができました。

さて、平成29年、2017年は酉(とり)年です。干支(えと)は十干(じっかん)と十二支(じゅうにし)を組み合わせたものが60種類存在するそうです。よって正確には、2017年の干支(えと)は、十干(じっかん)は丁(ひのと)、十二支(じゅうにし)は酉(とり)にあたるため、合わせて丁酉(ひのと・とり)の年ということになります。その意味は、多説ありますが、稲を始めとする植物の茎がすくすくと成長して、米や実の収穫期には豊作になる意味だそうです。鶏はかつては、どこの農家にも飼われていて、卵を産み、家族の生活と安泰をもたらす鳥とされてきました。そして、姿が美しく、元気な種類が多く、朝を知らせる鳴き声も人々の生活に活気を与えていたように思います。幼児たちにも鶏の姿のように、人に温かく、優しくできる心を持ち、今年も元気で、たくましい1年を送ってほしいと願います。

さて、本日から始まる3学期は短い学期ではありますが、幼児の成長のために大変重要な意味をもっている学期です。3月には各組の課程を終え、進級・進学へと階段を登ります。この3学期の意味を大切に、1月・2月と期待をもって、日々の活動を充実させていきます。

平成29年の本村幼稚園は、昨年にも増して「幼児にとっての幼稚園」を重視していきたいと思います。幼児たちが楽しみにしていることや、幼稚園では何が楽しいことなのかを見つけて、少しでもそのことをさせていきたいものです。そして、幼稚園時代にどこまで身に付けさせるのか、どんな体験を積んでいくのか、育てたい力や心は何かを教職員と話し合い、明確にして、保護者の皆様といっしょになって幼稚園経営をしていきます。

3学期は2月4日(土)の「生活発表会」を始め多くの行事が予定されています。短い期間ですが、幼児たちの成長の大きさを一番感じる時期でもあります。「はと組」は、4月の小学校入学への心を高めていきます。「りす組」は、4月には「はと組」になることへの気持ちを高めていきます。そして、新入園の子たちを迎え入れます。今年もよい年になりますように、本村幼稚園へのご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。



＜ 冬の暖かな日を浴びて、大根もサヤエンドウも大きくなりました＞